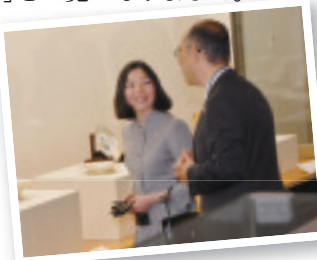


3月12日(木)

彬子さまが瀬戸にお成りになりました

三笠宮家の彬子さまが市美術館をご訪問され、「特別展 華麗なりモージュ磁器の世界」をご覧になりました。

市長らの出迎えを受けた彬子さまは、館内に展示された色彩豊かなりモージュの磁器をゆっくりと鑑賞され、市美術館長の説明を熱心にお聞きになっておられました。



3月17日(火)

連風揚げがった

市役所前の瀬戸川河川敷で、水南保育園と西保育園の園児が連風揚げを楽しみました。この日は晴天に恵まれ、園児たちの似顔絵などが書かれた長さ約50メートルの連風が青空に舞い上がりました。

3月21日(土)~29日(日)

ロボットと未来の夢がいっぱい

瀬戸蔵ロボット博2015が開催され、家族連れらでにぎわいました。屋外広場では、親子らが大型ロボット「イケドム」に搭乗し、自分の操縦でロボットが動き出すと大きな歓声をあげていました。



パーティセと10周年フェスタが開催され、市民大交流会では市民活動団体の皆さんが成果報告を行いました。ご当地ヒーローでまちおこしの会代表の尾方亮さんは、「これからも瀬戸市をPRし、子どもたちの笑顔のために頑張ります」と話してくれました。



せと・まるっと未来EXPO 2015

3月22日(日)

市民活動10年の歩み

~「その時」のために~

防災 NO.3 だより

☎防災課 ☎88・2600

家族で防災(家族防災会議、家具転倒防止)に取り組もう!

東日本大震災以降、学校や企業で防災教育や防災対策の見直し・強化が行われています。家庭での防災対策はどうでしょうか? 災害に備えた対策をとっていますか? 災害が起きた時にどのように行動するかを家族で話し合い、決めておきましょう。

安否確認

大人は職場、子どもは学校や公園など家族が離ればなれの時に被災する可能性があります。

■緊急避難場所・避難所を確認しましょう

- 自宅、学校、職場付近や通勤通学路の途中にある緊急避難場所・避難所を確認しましょう。
- 家族の合流場所を決めておきましょう。
- 交通機関がストップした場合に、徒歩で合流場所へ行くことも想定しましょう。

災害発生時には、被災地への通話が集中し、電話がつながりにくい状態が想定されます。

■お互いの連絡方法を確認しましょう

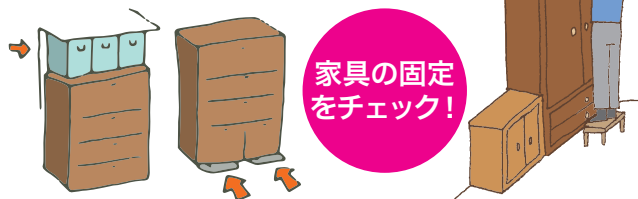
- 災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法を確認しましょう。
- 三角連絡法(離れた場所に住む親戚、知人の家を連絡先に決め、そこを中継点にして家族の安否確認を取る方法)の連絡先を決めておきましょう。

自宅の防災対策

災害発生時にはまず命を守ることが重要です。

■安全な空間をつくりましょう

- 家具の配置を見直しましょう。寝室や居間など家族が長時間過ごす部屋にはできるだけ家具を置かないようにし、家具が倒れたとき出入口(避難経路)をふさがないように配置しましょう。
- 家具や電化製品は固定し、家具の引き出しに留め金をつけたり、ガラス部分にガラス飛散防止フィルムを貼るなどの対策をとりましょう。



家具の固定をチェック!

【お知らせ】防災地区カルテ、防災ガイドマップを市ホームページに公表しています。